

博士論文（要約）

論文題目 東アジアにおける福祉国家形成の比較社会学

氏 名 上 村 泰 裕

目次

序章	1
第Ⅰ部 東アジア福祉の比較社会的な位置	13
第1章 大陸間比較から見た東アジアの福祉	15
1 はじめに	
2 福祉国家の前提条件	
3 未完の福祉国家化	
4 企業や家族は福祉国家を代替するか	
5 福祉国家拡充の壁	
6 小括	
第2章 歴史的展開から見た東アジアの福祉	31
1 はじめに	
2 東アジアの福祉への注目	
3 実践的関心と学問的関心	
4 東アジアの共通性と多様性	
5 民主化と経済危機を越えて	
6 福祉国家と市民社会の未来	
7 小括	
第Ⅱ部 東アジア福祉の制約条件——台湾の事例から	51
第3章 台湾の政労使関係と社会政策——国家コーポラティズムの遺産	53
1 はじめに	
2 認識手段としてのコーポラティズム概念	
3 国家コーポラティズムの遺産	
4 民主化と多元主義化	
5 新たなコーポラティズムへの模索	
6 韓国の事例との比較	
7 柔軟化は阻止されたのか	
8 小括	
第4章 台湾の高齢者福祉政治——グローバル経済の風圧	79
1 はじめに	
2 高齢期を規定する社会構造	
3 福祉政治の言説スタイル	
4 国民年金をめぐる政策過程	
5 小括	

第5章 台湾の社会保障と企業福祉——福祉レジームの岐路	93
1 はじめに	
2 企業を取り巻く社会保障制度	
3 回答企業の特徴と企業福祉観	
4 企業福祉の内容	
5 企業福祉重視の内実——聞き取り調査から	
6 福祉レジームの再編と市場化の進展	
7 小括	
第Ⅲ部 東アジア福祉の多様性	113
第6章 民主化と社会福祉——台湾・シンガポールの比較	115
1 はじめに	
2 市民社会への注目	
3 福祉国家の相違	
4 福祉レジームの効果	
5 小括	
第7章 雇用構造と若者の就業——日本・韓国・台湾の比較	133
1 はじめに	
2 福祉レジームと若年労働市場	
3 日韓台の若者問題は同じではない	
4 社会経済的要因か、それとも制度的要因か	
5 小括	
第8章 産業化の諸段階と失業保険——東アジア11か国の比較	153
1 はじめに	
2 東アジアの失業新時代	
3 途上国に失業保険は不要なのか	
4 既存の失業保険に不備はないか	
5 国際比較から政策構想へ	
6 小括	
終章	167
文献	177

本文

本論文は、すでに出版された以下の著作に大幅な加筆修正を施したものであり、出版社との契約によって全文公表はできない。

上村泰裕『福祉のアジア——国際比較から政策構想へ』名古屋大学出版会，2015年，ISBN 978-4-8158-0813-6.

参考文献一覧

(日本語)

- 荒川敏彦, 2007, 「殻の中に住むものは誰か——「鉄の檻」的ヴェーバー像からの解放」『現代思想』第 35 巻第 15 号.
- 有田伸, 2011, 「高学歴化と若者の就業——日本・韓国・台湾における教育と世代の意味」樋口明彦・上村泰裕・平塚眞樹編『若者問題と教育・雇用・社会保障——東アジアと周縁から考える』法政大学出版局.
- アン、ジョン (桂良太郎監訳), 1997, 『シンガポールの高齢化と社会福祉政策——アジア型社会福祉から学ぶもの』川島書店 (原著 John Ang, *Growing Old in Singapore*).
- 安保則夫, 2005, 『イギリス労働者の貧困と救済——救貧法と工場法』明石書店.
- 石崎菜生, 2001, 「韓国の民主化後における政労使関係——社会的合意形成の試み」佐藤幸人編『新興民主主義国の経済・社会政策』アジア経済研究所.
- 石田雄, 1997, 「丸山眞男と市民社会」石田雄・姜尚中 (国民文化会議編)『丸山眞男と市民社会』世織書房.
- 稲上毅, 1994, 「はじめに——ネオ・コーポラティズム再訪」稲上毅・D.ヒュー・ウィッターカー・逢見直人・篠田徹・下平好博・辻中豊『ネオ・コーポラティズムの国際比較——新しい政治経済モデルの探索』日本労働研究機構.
- 稲上毅, 2005, 「日本型福祉多元主義の探求」稲上毅『ポスト工業化と企業社会』ミネルヴァ書房.
- ウィレンスキー、ハロルド, 1984, 「日本語版への序文」(下平好博訳)『福祉国家と平等——公共支出の構造的・イデオロギー的起源』木鐸社.
- 宇佐見耕一, 2003, 「新興福祉国家論の視角」宇佐見耕一編『新興福祉国家論——アジアとラテンアメリカの比較研究』アジア経済研究所.
- 宇佐見耕一, 2005, 「新興工業国・社会主義国における社会福祉制度分析の視角」宇佐見耕一編『新興工業国の社会福祉——最低生活保障と家族福祉』アジア経済研究所.
- 宇佐見耕一, 2007, 「新興工業国の雇用と社会保障——問題の所在と分析概念」宇佐見耕一編『新興工業国における雇用と社会保障』アジア経済研究所.
- 埋橋孝文, 2005, 「福祉国家の南欧モデルと日本——後発福祉国家の 2 つの事例」山口二郎・宮本太郎・坪郷實編著『ポスト福祉国家とソーシャル・ガバナンス』ミネルヴァ書房.
- 浦田秀次郎, 2012, 「日本の通商戦略の課題と将来展望」21 世紀政策研究所編『日本の通商戦略の課題と将来展望』21 世紀政策研究所.
- エスピン・アンデルセン、イエスタ, 2001, 「日本語版への序文」(岡沢憲英訳)『福祉資本主義の三つの世界——比較福祉国家の理論と動態』ミネルヴァ書房.

- 大泉啓一郎, 2005, 「東アジア少子高齢化時代と日本の協力——もう1つの経済連携」渡辺利夫編『日本の東アジア戦略——共同体への期待と不安』東洋経済新報社.
- 大河内一男, 1948 (1972), 「原生的労働関係の理論」『社会政策論の史的発展』有斐閣.
- 大河内一男, 1952, 「総説」大河内一男編『失業』河出書房.
- 株本千鶴, 2003, 「韓国の福祉国家形成戦略——「生産的福祉」理念と改革主体」上村泰裕・末廣昭編『東アジアの福祉システム構築』東京大学社会科学研究所.
- 上村泰裕, 1999, 「福祉国家形成理論のアジア NIEs への拡張」『ソシオロギス』第 23 号.
- 上村泰裕, 2002a, 「台湾の国民年金論議・素描——グローバル経済のなかの後発福祉国家形成」社会政策学会編『経済格差と社会変動』法律文化社.
- 上村泰裕, 2002b, 「書評——韓国社会科学研究所社会福祉研究室『韓国の社会福祉』(金子編訳, 新幹社, 2002)」『海外社会保障研究』第 141 号.
- 上村泰裕, 2004, 「東アジアの福祉国家——その比較研究に向けて」大沢真理編『アジア諸国の福祉戦略』ミネルヴァ書房, pp.23-65.
- 上村泰裕, 2005, 「福祉国家と市民社会の接点としての社会福祉——台湾とシンガポールの比較から」宇佐見耕一編『新興工業国の社会福祉——最低生活保障と家族福祉』アジア経済研究所, pp.37-69.
- 上村泰裕, 2006, 「東アジアの福祉レジーム——その過去・現在・未来」『思想』983 号, 岩波書店, pp.185-202.
- 上村泰裕, 2007, 「台湾の政労使関係と社会政策——新たなコーポラティズムへの模索？」宇佐見耕一編『新興工業国における雇用と社会保障』アジア経済研究所, pp.225-258.
- 上村泰裕, 2008, 「大きな取引と小さな取引——韓国と台湾における新たなコーポラティズム」『大原社会問題研究所雑誌』第 595 号.
- 上村泰裕, 2010, 「台湾——政府が奨励した企業福祉とその変容」末廣昭編『東アジア福祉システムの展望——7 カ国・地域の企業福祉と社会保障制度』ミネルヴァ書房, pp.146-173.
- 上村泰裕, 2011a, 「台湾における高齢者福祉政治の展開」宇佐見耕一編『新興諸国における高齢者生活保障制度——批判的社会老年学からの接近』アジア経済研究所, pp.213-232.
- 上村泰裕, 2011b, 「雇用構造と若者の就業——日韓台の問題状況はどう違うか」樋口明彦・上村泰裕・平塚眞樹編『若者問題と教育・雇用・社会保障——東アジアと周縁から考える』法政大学出版局, pp.31-53.
- 上村泰裕, 2012a, 「東アジア社会政策を構想する——失業保険制度を例に」武川正吾・宮本太郎編『グローバリゼーションと福祉国家』明石書店, pp.135-150.
- 上村泰裕, 2012b, 「東アジアの多様な労働市場と社会保障——インフォーマル雇用の壁を越えて」『社会科学研究』第 63 巻第 5・6 号, pp.83-100.
- 上村泰裕, 2014, 「大陸間比較から見た東アジアの福祉」末廣昭編『東アジアの雇用・生活

- 保障と新たな社会リスクへの対応』東京大学社会科学研究所研究シリーズ No.56, pp.39-56.
- 北山俊哉, 2011, 『福祉国家の制度発展と地方政府——国民健康保険の政治学』有斐閣.
- キム・スヒョン, 2003, 「韓国・金大中政権の社会福祉政策——評価と課題」上村泰裕・末廣昭編『東アジアの福祉システム構築』東京大学社会科学研究所.
- 金成垣, 2008, 『後発福祉国家論——比較のなかの韓国と東アジア』東京大学出版会.
- 金成垣, 2011, 「若者の貧困と社会保障——日本・韓国・台湾の福祉国家体制への示唆」樋口明彦・上村泰裕・平塚眞樹編『若者問題と教育・雇用・社会保障——東アジアと周縁から考える』法政大学出版局.
- 金早雪, 2004, 「IMF体制と「韓国型福祉国家」」『海外社会保障研究』第146号.
- 金大中(田内基訳), 2002, 『生産的福祉への道』毎日新聞社.
- 金潤煥, 1992, 「民主的労働秩序の胎動(1945~53)」『大原社会問題研究所雑誌』第398号.
- 木村陸男, 1990, 「小都市国家の開発体制」林俊昭編『シンガポールの工業化——アジアのビジネス・センター』アジア経済研究所.
- 玄田有史, 2001, 『仕事のなかの曖昧な不安——揺れる若年の現在』中央公論新社.
- 五石敬路, 2003, 「韓国における「生産的福祉」政策の特徴と矛盾——自活支援事業を中心に」上村泰裕・末廣昭編『東アジアの福祉システム構築』東京大学社会科学研究所.
- 厚生労働省, 2004, 『2003~2004年海外情勢白書』厚生労働省.
- 厚生労働省, 2008, 『平成20年版労働経済白書——働く人の意識と雇用管理の動向』日経印刷.
- 厚生労働省, 2013, 『2013年海外情勢報告』厚生労働省.
- 小林英夫・郭洋春・祖父江利衛, 1993, 「東アジアの経済成長と労使関係の変化」『大原社会問題研究所雑誌』第410号.
- 小山路男, 1962, 『イギリス救貧法史論』日本評論新社.
- 沢田ゆかり, 1997, 「レッセ・フェールと社会福祉」沢田ゆかり編『植民地香港の構造変化』アジア経済研究所.
- 澤田ゆかり, 2013, 「社会保障制度の新たな課題——国民皆保険体制に内在する格差への対応」大西康雄編『習近平政権の中国——「調和」の次に来るもの』アジア経済研究所.
- 清水盛光, 1942, 『支那家族の構造』岩波書店.
- 下平好博, 1987, 「アジアのNICsの社会保障制度——シンガポールと香港の比較分析」『季刊社会保障研究』第23巻第1号.
- 新川敏光, 2005, 『日本型福祉レジームの発展と変容』ミネルヴァ書房.
- 慎斗範, 1993, 『韓国政治の現在——民主化へのダイナミクス』有斐閣.
- 末廣昭, 2010, 「東アジア福祉システムの視点——国家・企業・社会の関係」末廣昭編『東

- アジア福祉システムの展望——7カ国・地域の企業福祉と社会保障制度』ミネルヴァ書房.
- 末廣昭編, 2010, 『東アジア福祉システムの展望——7カ国・地域の企業福祉と社会保障制度』ミネルヴァ書房.
- 末廣昭・小森田秋夫編, 2001, 『自由化・経済危機・社会再構築の国際比較——アジア、ラテンアメリカ、ロシア／東欧 第I部・論点と視角』東京大学社会科学研究所.
- 曾妙慧, 2003, 「台湾における失業保険の成立と展開——グローバル化と民主化のなかの福祉国家像」上村泰裕・末廣昭編『東アジアの福祉システム構築』東京大学社会科学研究所.
- 大霞会編, 1971, 『内務省史・第三巻』地方財務協会.
- 武川正吾, 2005, 「福祉オリエンタリズムの終焉——韓国福祉国家性格論争からの教訓」武川正吾・金淵明編『韓国の福祉国家・日本の福祉国家』東信堂.
- 武川正吾, 2007, 『連帯と承認——グローバル化と個人化のなかの福祉国家』東京大学出版会.
- 竹下秀邦, 1995, 『シンガポール——リー・クアンユウの時代』アジア経済研究所.
- 田中弥生, 2001, 「シンガポール——権威主義的福祉国家の巧みな NGO コントロール」重富真一編『アジアの国家と NGO——15カ国の比較研究』明石書店.
- 太郎丸博, 2009, 『若年非正規雇用の社会学——階層・ジェンダー・グローバル化』大阪大学出版会.
- 張慶燮 (柴田悠訳), 2013, 「個人主義なき個人化——「圧縮された近代」と東アジアの曖昧な家族危機」落合恵美子編『親密圏と公共圏の再編成——アジア近代からの問い』京都大学学術出版会.
- 崔章集 (中村福治訳), 1997, 『現代韓国の政治変動——近代化と民主主義の歴史的条件』木鐸社.
- 寺尾忠能, 2001, 「台湾——抑圧の対象から「台湾化」の担い手へ」重富真一編『アジアの国家と NGO——15カ国の比較研究』明石書店.
- 寺西重郎, 2003, 「アジアのソーシャル・セーフティネット」寺西重郎編『アジアのソーシャル・セーフティネット』勁草書房.
- 寺西重郎編, 2003, 『アジアのソーシャル・セーフティネット』勁草書房.
- 鄧雲特 (川崎正雄訳), 1939, 『支那救荒史』生活社.
- 戸田典子, 2010, 「失業保険と生活保護の間——ドイツの求職者のための基礎保障」『レファレンス』709号.
- 服部民夫・佐藤幸人, 1996, 「韓国・台湾の発展メカニズム」服部民夫・佐藤幸人編『韓国・台湾の発展メカニズム』アジア経済研究所.
- 濱口桂一郎, 2010, 「労働市場のセーフティネット——雇用保険制度等の展開と課題」『ビジネス・レーバー・トレンド』4月号.

- 樋口明彦, 2011, 「若年者雇用政策の比較——日本・韓国・台湾における雇用と社会保障」
樋口明彦・上村泰裕・平塚眞樹編『若者問題と教育・雇用・社会保障——東アジアと周縁から考える』法政大学出版局.
- 平石直昭, 2003, 「丸山眞男の「市民社会」論」小林正弥編『丸山眞男論——主体的作為・ファシズム・市民社会』東京大学出版会.
- 広井良典, 2003, 「アジアの社会保障の概観——「アジア型福祉国家」はあるか」広井良典・駒村康平編『アジアの社会保障』東京大学出版会.
- 広井良典, 2005, 「アジア、社会保障で協力を」日本経済新聞、2005年9月29日朝刊.
- 広井良典・駒村康平編, 2003, 『アジアの社会保障』東京大学出版会.
- 黄玫玲（廖敏淑・上村泰裕訳）, 2003, 「台湾における国民年金制度の計画」上村泰裕・末廣昭編『東アジアの福祉システム構築』東京大学社会科学研究所.
- 星斌夫, 1988, 『中国の社会福祉の歴史』山川出版社.
- 本田由紀, 2005, 『若者と仕事——「学校経由の就職」を超えて』東京大学出版会.
- 丸川知雄, 2002, 『労働市場の地殻変動』名古屋大学出版会.
- 丸山眞男・加藤周一, 1998, 『翻訳と日本の近代』岩波新書.
- 宮本太郎, 2008, 『福祉政治——日本の生活保障とデモクラシー』有斐閣.
- 宮本太郎, 2013, 『社会的包摂の政治学——自立と承認をめぐる政治対抗』ミネルヴァ書房.
- 村松祐次, 1969, 「清代の義倉」『一橋大学研究年報・人文科学研究』第11号.
- 尹辰浩, 1999, 「韓国労使関係の新たな実験——労使政委員会の成果とその評価」（上・下）
『大原社会問題研究雑誌』492・493号.
- ラスレット, ピーター（酒田利夫・奥田伸子訳）, 1992, 『ヨーロッパの伝統的家族と世帯』リプロポート.
- 李蓮花, 2011, 『東アジアにおける後発近代化と社会政策——韓国と台湾の医療保険政策』ミネルヴァ書房.
- 林成蔚, 2003, 「台湾の全民健保の民営化改革——「新しい政治」の登場？」上村泰裕・末廣昭編『東アジアの福祉システム構築』東京大学社会科学研究所.
- 林成蔚, 2004, 「台湾と韓国における社会保障制度改革の政治過程」大沢真理編『アジア諸国の福祉戦略』ミネルヴァ書房.
- レームブルッフ、ゲルハルト（平島健司編訳）, 2004, 『ヨーロッパ比較政治発展論』東京大学出版会.
- 労働政策研究・研修機構, 2004, 「「雇用創出のための社会協約案」と政労使の取り組み」『海外労働情報』2004年4月号.
- 若林正丈, 1992, 『台湾——分裂国家と民主化』東京大学出版会.

(英語)

- ADB and World Bank, 2000, *The New Social Policy Agenda in Asia: Proceedings of the Manila Social Forum*, Asian Development Bank.
- Aspalter, Christian (ed.), 2002, *Discovering the Welfare State in East Asia*, Praeger.
- Atkinson, Anthony B., 2005, "Social Indicators, Policy, and Measuring Progress," in Stefan Svallfors (ed.), *Analyzing Inequality: Life Chances and Social Mobility in Comparative Perspective*, Stanford University Press.
- Berg, Janine and Matthew Salerno, 2008, "The Origins of Unemployment Insurance: Lessons for Developing Countries," in Janine Berg and David Kucera (eds.), *In Defence of Labour Market Institutions: Cultivating Justice in the Developing World*, Palgrave Macmillan.
- Bolt, Jutta and Jan Luiten van Zanden, 2013, "The First Update of the Maddison Project: Re-Estimating Growth Before 1820," Maddison Project Working Paper 4.
- Brassard, Caroline and Sarthi Acharya (eds.), 2006, *Labour Market Regulation and Deregulation in Asia: Experiences in Recent Decades*, Academic Foundation.
- Breen, Richard, 2005, "Explaining Cross-national Variation in Youth Unemployment: Market and Institutional Factors," *European Sociological Review*, Vol.21, No.2.
- Buchholz, Sandra, Dirk Hofacker, Melinda Mills, Hans-Peter Blossfeld, Karin Kurz and Heather Hofmeister, 2009, "Life Courses in the Globalization Process: The Development of Social Inequalities in Modern Societies," *European Sociological Review*, Vol.25, No.1.
- Busse, Reinhard, Jonas Schreyogg and Christian Gericke, 2007, "Analyzing Changes in Health Financing Arrangements in High-Income Countries: A Comprehensive Framework Approach," HNP Discussion Paper, The World Bank.
- Chan, Raymond, 1996, *Welfare in Newly-Industrialised Society: The Construction of the Welfare State in Hong Kong*, Avebury.
- Chan, Raymond, 2001, "The Sustainability of the Asian Welfare System after the Financial Crisis: Reflections on the Case of Hong Kong," Working Paper No.7, Southeast Asia Research Centre of the City University of Hong Kong.
- Chen, Shyh-Jer, Jyh-Jer Ko and John Lawler, 2003, "Changing Patterns of Industrial Relations in Taiwan," *Industrial Relations*, Vol.42, No.3.
- Choi, Jang-jip, 1989, *Labor and the Authoritarian State: Labor Unions in South Korean Manufacturing Industries, 1961-1980*, Korea University Press.
- Chung, Moo-kwon, 1992, *State Autonomy, State Capacity, and Public Policy: The Development of Social Security Policy in Korea*, University Microfilms International: Facsim. of the author's thesis (Ph.D. of Indiana University).
- Deyo, Frederic, 1992, "The Political Economy of Social Policy Formation: East Asia's Newly

- Industrialized Countries,” in Richard P. Appelbaum and Jeffrey William Henderson (eds.), *States and Development in the Asian Pacific Rim*, Sage Publications.
- Dhanani, Shafiq, Iyanatul Islam and Anis Chowdhury, 2009, *The Indonesian Labour Market: Changes and Challenges*, Routledge.
- Dore, Ronald, 1973 (1990), *British Factory, Japanese Factory: The Origins of National Diversity in Industrial Relations*, University of California Press (山之内靖・永易浩一訳『イギリスの工場・日本の工場——労使関係の比較社会学』ちくま学芸文庫、1993年)。
- Engels, Friedrich, 1845, *Die Lage der arbeitenden Klasse in England: Nach eigener Anschauung und authentischen Quellen* (一條和生・杉山忠平訳『イギリスにおける労働者階級の状態——19世紀のロンドンとマンチェスター』岩波文庫、1990年)。
- England, Joe and John Rear, 1981, *Industrial Relations and Law in Hong Kong*, Oxford University Press.
- Esping-Andersen, Gøsta, 1990, *The Three Worlds of Welfare Capitalism*, Polity Press (岡沢憲英・宮本太郎監訳『福祉資本主義の三つの世界——比較福祉国家の理論と動態』ミネルヴァ書房、2001年)。
- Esping-Andersen, Gøsta, 1999, *Social Foundations of Postindustrial Economies*, Oxford University Press (渡辺雅男・渡辺景子訳『ポスト工業経済の社会的基礎——市場・福祉国家・家族の政治経済学』桜井書店、2000年)。
- European Commission, 2014, “Investing in People: EU Funding for Employment and Social Inclusion,” *Social Europe Guide*, Volume 7, Publications Office of the European Union.
- Fukuyama, Francis, 2011, *The Origins of Political Order: From Prehuman Times to the French Revolution*, Farrar, Straus and Giroux (会田弘継訳『政治の起源——人類以前からフランス革命まで』講談社、2013年)。
- Giddens, Anthony, 1994, *Beyond Left and Right: The Future of Radical Politics*, Polity Press (松尾精文・立松隆介訳『左派右派を超えて——ラディカルな政治の未来像』而立書房、2002年)。
- Giddens, Anthony, 1998, *The Third Way: The Renewal of Social Democracy*, Polity Press (佐和隆光訳『第三の道——効率と公正の新たな同盟』日本経済新聞社、1999年)。
- Gidron, Benjamin, Ralph M. Kramer and Lester M. Salamon, 1992, “Government and the Third Sector in Comparative Perspective: Allies or Adversaries?,” in Benjamin Gidron, Ralph M. Kramer and Lester M. Salamon (eds.), *Government and the Third Sector: Emerging Relationships in Welfare States*, Jossey-Bass Publishers.
- Goodman, Roger and Ito Peng, 1996, “The East Asian Welfare States: Peripatetic Learning, Adaptive Change, and Nation-Building,” in Gøsta Esping-Andersen (ed.), *Welfare States in Transition: National Adaptations in Global Economies*, Sage Publications.
- Goodman, Roger, Gordon White and Huck-ju Kwon (eds.), 1998, *The East Asian Welfare Model:*

- Welfare Orientalism and the State*, Routledge.
- Goody, Jack, 1983, *The Development of the Family and Marriage in Europe*, Cambridge University Press.
- Gorski, Philip S., 2003, *The Disciplinary Revolution: Calvinism and the Rise of the State in Early Modern Europe*, University of Chicago Press.
- Gough, Ian, 2003, “Welfare Regimes in East Asia and Europe Compared,” in Katherine Marshall and Olivier Butzbach (eds.), *New Social Policy Agendas for Europe and Asia: Challenges, Experience, and Lessons*, World Bank.
- Gupta, Sanjeev, Calvin McDonald, Christian Schiller, Marijn Verhoeven, Željko Bogetic and Gerd Schwartz, 1998, “Mitigating the Social Costs of the Economic Crisis and the Reform Programs in Asia,” *Papers on Policy Analysis and Assessments*, IMF.
- Haggard, Stephan and Robert R. Kaufman, 2008, *Development, Democracy, and Welfare States: Latin America, East Asia, and Eastern Europe*, Princeton University Press.
- Hall, Peter A. and David Soskice, 2001, “An Introduction to Varieties of Capitalism,” in Peter A. Hall and David Soskice (eds.), *Varieties of Capitalism: The Institutional Foundations of Comparative Advantage*, Oxford University Press (遠山弘徳・安孫子誠男・山田鋭夫・宇仁宏幸・藤田菜々子訳『資本主義の多様性——比較優位の制度的基礎』ナカニシヤ出版、2007年) .
- Ho, Ming-sho, 2006, “Challenging State Corporatism: The Politics of Taiwan’s Labor Federation Movement,” *The China Journal*, No.56.
- Holliday, Ian, 2000, “Productivist Welfare Capitalism: Social Policy in East Asia,” *Political Studies* (Journal of the Political Studies Association UK), Vol.48, No.4.
- Holliday, Ian and Paul Wilding (eds.), 2003, *Welfare Capitalism in East Asia: Social Policy in the Tiger Economies*, Palgrave (埋橋孝文・小田川華子・木村清美・三宅洋一・矢野裕俊・鷺巣典代訳『東アジアの福祉資本主義——教育，保健医療，住宅，社会保障の動き』法律文化社、2007年) .
- Holzmann, Robert and Steen Jorgensen, 1999, “Social Protection as Social Risk Management: Conceptual Underpinnings for the Social Protection Sector Strategy Paper,” *Journal of International Development*, Vol.11, No.7.
- Huang, Chang-Ling, 2002, “The Politics of Reregulation: Globalization, Democratization, and the Taiwanese Labor Movement,” *The Developing Economies*, Vol.40, No.3.
- ILO, 2002, “Decent Work and the Informal Economy,” *International Labour Conference 90th Session, Report VI*.
- Immervoll, Herwig, Stephen P. Jenkins and Sebastian Königs, 2015, “Are Recipients of Social Assistance ‘Benefit Dependent’?: Concepts, Measurement and Results for Selected Countries,” *OECD Social, Employment and Migration Working Papers*, No.162, OECD

Publishing.

- Interministerial Committee (Singapore), 1999, *Report of the Interministerial Committee on the Ageing Population*, Ministry of Community Development.
- Jacobs, Didier, 1998, "Social Welfare Systems in East Asia: A Comparative Analysis Including Private Welfare," CASE Paper No.10, Centre for the Analysis of Social Exclusion, LSE.
- Jones, Catherine, 1990, "Hong Kong, Singapore, South Korea and Taiwan: Oikonomic Welfare States," *Government and Opposition*, Vol.25, No.4.
- Jones, Catherine, 1993, "The Pacific Challenge: Confucian Welfare States," in Catherine Jones (ed.), *New Perspective on the Welfare State in Europe*, Routledge.
- Jones, David Seth, 2002, "Welfare and Public Management in Singapore: A Study of State and Voluntary Sector Partnership," *Asian Journal of Public Administration*, Vol.24, No.1.
- Kahl, Sigrun, 2005, "The Religious Roots of Modern Poverty Policy: Catholic, Lutheran, and Reformed Protestant Traditions Compared," *European Journal of Sociology*, Vol.46, No.1.
- Ku, Yeun-wen, 1997, *Welfare Capitalism in Taiwan: State, Economy and Social Policy*, Macmillan.
- Kwon, Huck-ju, 1998, "Democracy and the Politics of Social Welfare: A Comparative Analysis of Welfare Systems in East Asia," in Roger Goodman, Gordon White and Huck-ju Kwon (eds.), *The East Asian Welfare Model: Welfare Orientalism and the State*, Routledge.
- Lee, Eddy, 1998, *The Asian Financial Crisis: The Challenge for Social Policy*, ILO.
- Low, Linda and T. C. Aw, 1997, *Housing a Healthy, Educated and Wealthy Nation through the CPF*, Times Academic Press.
- Macfarlane, Alan, 1978, *The Origins of English Individualism: The Family, Property and Social Transition*, Blackwell (酒田利夫訳『イギリス個人主義の起源——家族・財産・社会変化』南風社、1997年) .
- MacPherson, Stewart, 1992, "Social Policy and Economic Change in the Asia Pacific Region," *Social Policy & Administration*, Vol.26, No.1.
- Marshall, Katherine and Olivier Butzbach (eds.), 2003, *New Social Policy Agendas for Europe and Asia: Challenges, Experience, and Lessons*, World Bank.
- Marshall, Thomas Humphrey, 1950 (1992), *Citizenship and Social Class*, Pluto Press (岩崎信彦・中村健吾訳『シティズンシップと社会的階級——近現代を総括するマニフェスト』法律文化社、1993年) .
- Midgley, James, 1986, "Industrialization and Welfare: The Case of the Four Little Tigers," *Social Policy & Administration*, Vol.20, No.3.
- Ministry of Community Development and Sports (Singapore), 2003, *Building a Cohesive and Resilient Society*, Ministry of Community Development and Sports.
- Mitterauer, Michael, 1990, *Historisch-Anthropologische Familienforschung: Fragestellungen und Zugangsweisen*, Bohlau (若尾祐司・服部良久・森明子・肥前栄一・森謙二訳『歴史

- 人類学の家族研究——ヨーロッパ比較家族史の課題と方法』新曜社、1994年）。
- National Council of Social Service (Singapore), 2003, *Annual Report 2002/2003: Reaching Out, Changing Lives*, National Council of Social Service.
- National Council of Social Service (Singapore), 2003, *Assistance Schemes for Individuals and Families in Social and Financial Need*, National Council of Social Service.
- North, Douglass C., 1990, *Institutions, Institutional Change and Economic Performance*, Cambridge University Press（竹下公視訳『制度・制度変化・経済成果』晃洋書房、1994年）。
- OECD, 2002, *Towards Asia's Sustainable Development: The Role of Social Protection*, OECD.
- OECD, 2007a, *Des emplois pour les jeunes: Belgium*, OECD Publishing.
- OECD, 2007b, *Jobs for Youth: KOREA*, OECD Publishing.
- OECD, 2007c, *Jobs for Youth: SLOVAK REPUBLIC*, OECD Publishing.
- OECD, 2007d, *Jobs for Youth: SPAIN*, OECD Publishing.
- OECD, 2008a, *Jobs for Youth: CANADA*, OECD Publishing.
- OECD, 2008b, *Jobs for Youth: NETHERLANDS*, OECD Publishing.
- OECD, 2008c, *Jobs for Youth: NEW ZEALAND*, OECD Publishing.
- OECD, 2008d, *Jobs for Youth: NORWAY*, OECD Publishing.
- OECD, 2008e, *Jobs for Youth: UNITED KINGDOM*, OECD Publishing.
- OECD, 2009a, *Jobs for Youth: AUSTRALIA*, OECD Publishing.
- OECD, 2009b, *Jobs for Youth: FRANCE*, OECD Publishing.
- OECD, 2009c, *Jobs for Youth: JAPAN*, OECD Publishing（濱口桂一郎監訳『日本の若者と雇用——OECD若年者雇用レビュー：日本』明石書店、2010年）。
- OECD, 2009d, *Jobs for Youth: POLAND*, OECD Publishing.
- OECD, 2009e, *Jobs for Youth: UNITED STATES*, OECD Publishing.
- OECD, 2010a, *Jobs for Youth: DENMARK*, OECD Publishing.
- OECD, 2010b, *Jobs for Youth: GREECE*, OECD Publishing.
- Ortiz, Isabel (ed.), 2001, *Social Protection in Asia and the Pacific*, Asian Development Bank.
- Phillipson, Chris, 2006, "Aging and Globalization: Issues for Critical Gerontology and Political Economy," in Jan Baars, Dale Dannefer, Chris Phillipson and Alan Walker (eds.), *Aging, Globalization and Inequality: The New Critical Gerontology*, Baywood Publishing.
- Pierson, Paul, 2004, *Politics in Time: History, Institutions, and Social Analysis*, Princeton University Press（粕谷祐子監訳『ポリティクス・イン・タイム——歴史・制度・社会分析』勁草書房、2010年）。
- Polanyi, Karl, 1944 (2001), *The Great Transformation: The Political and Economic Origins of Our Time*, Beacon Press（野口建彦・栖原学訳『大転換——市場社会の形成と崩壊』東洋経済新報社、2009年）。
- Ramesh, Mishra, 1995, "Social Security in South Korea and Singapore: Explaining the Differences,"

- Social Policy & Administration*, Vol.29, No.3.
- Ramesh, Mishra and Mukul Asher, 2000, *Welfare Capitalism in Southeast Asia: Social Security, Health and Education Policies*, Macmillan.
- Regini, Marino, 2000, “The Dilemmas of Labour Market Regulation,” in Gøsta Esping-Andersen and Marino Regini (eds.) *Why Deregulate Labour Markets?*, Oxford University Press (伍賀一道・北明美・白井邦彦・澤田幹・川口章訳『労働市場の規制緩和を検証する——欧州8カ国の現状と課題』青木書店、2004年)。
- Rhodes, Martin, 2001, “The Political Economy of Social Pacts: ‘Competitive Corporatism’ and European Welfare Reform,” in Paul Pierson (ed.), *The New Politics of the Welfare State*, Oxford University Press.
- Rieger, Elmar and Stephan Leibfried, 2003, *Limits to Globalization: Welfare States and the World Economy*, Polity Press.
- Rodan, Garry, 1989, *The Political Economy of Singapore’s Industrialization: National State and International Capital*, Macmillan (田村慶子・岩崎育夫訳『シンガポール工業化の政治経済学——国家と国際資本』三一書房、1992年)。
- Rodrik, Dani, 2011, *The Globalization Paradox: Democracy and the Future of the World Economy*, W.W. Norton (柴山桂太・大川良文訳『グローバリゼーション・パラドクス——世界経済の未来を決める三つの道』白水社、2013年)。
- Room, Graham, 2000, “Commodification and Decommodification: A Developmental Critique,” *Policy & Politics*, Vol.28, No.3.
- Salamon, Lester M., 1997, *Holding the Center: America’s Nonprofit Sector at a Crossroads*, The Nathan Cummings Foundation (山内直人訳『NPO最前線——岐路に立つアメリカ市民社会』岩波書店、1999年)。
- Schmidt, Vivien A., 2002, “Does Discourse Matter in the Politics of Welfare State Adjustment?,” *Comparative Political Studies*, Vol.35, No.2.
- Schmitter, Philippe C., 1979, “Still the Century of Corporatism?,” in Philippe C. Schmitter and Gerhard Lehmbruch (eds.), *Trends toward Corporatist Intermediation*, Sage publications (山口定監訳『現代コーポラティズム I——団体統合主義の政治とその理論』木鐸社、1984年)。
- Schmitter, Philippe C., 1982, “Reflections on Where the Theory of Neo-Corporatism Has Gone and Where the Praxis of Neo-Corporatism May Be Going,” in Gerhard Lehmbruch and Philippe C. Schmitter (eds.), *Patterns of Corporatist Policy-Making*, Sage publications (山口定監訳『現代コーポラティズム II——先進諸国の比較分析』木鐸社、1986年)。
- Scholz, Wolfgang, Florence Bonnet and Ellen Ehmke, 2010, “Income Support in Times of Global Crisis: An Assessment of the Role of Unemployment Insurance and Options for Coverage Extension in Asia,” in Armin Bauer and Myo Thant (eds.), *Poverty and Sustainable*

- Development in Asia: Impacts and Responses to the Global Economic Crisis*, Asian Development Bank.
- Shonfield, Andrew, 1965, *Modern Capitalism: The Changing Balance of Public and Private Power*, Oxford University Press (海老沢道進・間野英雄・松岡健二郎・石橋邦夫訳『現代資本主義』オックスフォード大学出版局、1968年) .
- Singapore Department of Statistics, 2001, *Census of Population 2000: Advanced Data Release*, Singapore Department of Statistics.
- Sjöberg, Ola, Joakim Palme and Eero Carroll, 2010, “Unemployment Insurance,” in Francis G. Castles, Stephan Leibfried, Jane Lewis, Herbert Obinger and Christopher Pierson (eds.), *The Oxford Handbook of the Welfare State*, Oxford University Press.
- Stapan, Alfred, 1978, *The State and Society: Peru in Comparative Perspective*, Princeton University Press.
- Tan, Ngoh Tiong and Kalyani K. Mehta (eds.), 2002, *Extending Frontiers: Social Issues and Social Work in Singapore*, Eastern Universities Press.
- Tang, Kwong-leung, 2000, *Social Welfare Development in East Asia*, Palgrave.
- Tang, Kwong-leung (ed.), 2000, *Social Development in Asia*, Kluwer Academic Publishers.
- Titmuss, Richard M., 1974, *Social Policy: An Introduction*, Allen and Unwin (三友雅夫監訳『社会福祉政策』恒星社厚生閣、1981年) .
- UNDP, 2011, *Sharing Innovative Experiences: Successful Social Protection Floor Experiences*, UNDP.
- UNESCAP, 2001, “Strengthening Policies and Programmes on Social Safety Nets: Issues, Recommendations and Selected Studies,” Social Policy Paper No.8, UNESCAP.
- Weaver, R. Kent, 1986, “The Politics of Blame Avoidance,” *Journal of Public Policy*, Vol.6, No.4.
- Wilensky, Harold L., 1975, *The Welfare State and Equality: Structural and Ideological Roots of Public Expenditures*, University of California Press (下平好博訳『福祉国家と平等——公共支出の構造的・イデオロギー的起源』木鐸社、1984年) .
- Wilensky, Harold L. and Charles N. Lebeaux, 1965, *Industrial Society and Social Welfare: The Impact of Industrialization on the Supply and Organization of Social Welfare Services in the United States*, Free Press (四方寿雄ほか監訳『産業社会と社会福祉』上・下、岩崎学術出版社、1971年) .
- World Bank, 1999, “Towards an East Asian Social Protection Strategy,” Human Development Unit, East Asia and Pacific Region, World Bank, Draft.
- World Bank, 2001, *Social Protection Sector Strategy: From Safety Net to Springboard*, World Bank.
- World Health Organization, 2008, *Primary Health Care: Now More Than Ever* (The World Health Report 2008), World Health Organization.

(中国語)

- 詹火生編, 2001, 『新經濟世紀的勞動政策——厚生白皮書・社会労働篇』厚生基金会.
- 陳水扁, 1999, 『台湾之子』晨星(及川朋子・山口雪菜・永井江理子・本間美穂・松本さち子訳『台湾之子』毎日新聞社、2000年).
- 范雅鈞編, 2004, 『戰後台湾勞工運動資料彙編 1・勞工政策與法令』国史館.
- 洪士程, 2006, 『台湾勞工運動』華立圖書.
- 柯志哲, 2003, 「非典型工作型態之分析與探討」行政院勞工委員會.
- 藍科正, 2001, 「勞動力跨國移動政策——台灣引進外勞的經驗」詹火生編『新經濟世紀的勞動政策——厚生白皮書・社会労働篇』厚生基金会.
- 勞工保險局, 2008a, 「勞保簡介」.
- 勞工保險局, 2008b, 「農保簡介」.
- 勞工保險局, 2008c, 「就業保險簡介」.
- 勞工保險局, 2008d, 「勞退新制簡介」.
- 勞工保險局, 2008e, 「國民年金簡介」.
- 勞工保險局, 2009, 「老農津貼簡介」.
- 李誠, 2000, 「台灣的勞資關係」李誠編『比較勞資關係』華泰文化事業公司.
- 李誠編, 2003, 『誰偷走了我們的工作』天下遠見出版.
- 李允傑, 1999, 『台灣工會政策的政治經濟分析〔增訂二版〕』商鼎文化出版社.
- 林木材, 2008, 「談台灣勞工陣線——孫友聯秘書長專訪」紀工報(紀錄片從業人員職業工會)第13期.
- 林萬億, 2006, 『台灣的社会福利——歷史經驗與制度分析』五南圖書出版.
- 呂寶靜編, 2002, 『社会工作與台灣社会』巨流圖書公司.
- 內政部, 2004, 『內政部九十四年度推展社会福利補助經費申請補助項目及基準』內政部.
- 內政部社会司, 2004, 『內政部推展社会福利服務補助經費核撥與未核銷比較表』內政部.
- 內政部社会司, 2007, 「老人福利與政策」.
- 內政部統計處, 1997, 『中華民國八十五(1996)年老人狀況調查報告』內政部.
- 沈宗瑞, 2001, 『國家與社会——中華民國的經驗分析』韋伯文化事業出版社.
- 蘇麗瓊・黃雅鈴, 2005, 「老人福利政策再出發——推動在地老化政策」社區發展季刊第110期.
- 孫健忠, 1996, 『台灣地區社会救助政策發展之研究』時英出版社.
- 台灣經濟永續發展會議, 2006, 『社会安全組分組報告・完善社会安全体系』.
- 台灣勞工陣線, 1999a, 『新國有政策——台灣民營化政策總批判』商周出版.
- 台灣勞工陣線, 1999b, 『台灣勞工的主張——2000年勞動政策白皮書』勞動者雜誌社.
- 台灣勞工陣線, 2000, 「撕破官方版國民年金的假面具!」.
- 台灣勞工陣線, 2004, 『站崗陣、戰同線——台灣勞工陣線20週年』勞動者雜誌社.
- 台灣銀行, 發行年不明, 「公教人員保險服務」.

- 蔡宜縉, 2008, 「理念、利益與制度——台湾国民年金規劃的政治分析」国立台湾大学社会科学院社会学研究所碩士論文.
- 曾中明·姚惠文·鄭貴華, 2007, 「我国国民年金之規劃歷程」社区發展季刊第 116 期.
- 王增勇, 2000, 「誰代表老人發言——台湾老人福利運動的回顧與展望」蕭新煌·林國明編『台湾的社会福利運動』巨流圖書公司.
- 衛民, 2001, 「跨世紀產業民主政策」詹火生編『新經濟世紀的勞動政策——厚生白皮書·社会勞動篇』厚生基金会.
- 蕭新煌·孫志慧, 2000, 「一九八〇年代以来台湾社会福利運動的發展——演變與傳承」蕭新煌·林國明編『台湾的社会福利運動』巨流圖書公司.
- 喜瑪拉雅研究發展基金会, 2002, 『台湾 300 家主要基金会名錄 2002 年版』.
- 行政院勞工委員會, 2005, 「新工時制度手冊」.
- 行政院勞工委員會員工消費合作社編, 2004, 『勞工法規輯要』行政院勞工委員會員工消費合作社.
- 行政院新聞局, 2002, 「全国社福會議明後兩日舉行——擘劃新世紀社会福利願景」.
- 行政院主計處, 2008, 『97 年中華民國統計年鑑』.
- 中華民國職工福利發展協會, 2008, 『福委会管理運作』.
- 中央健康保險局, 2009, 「98 年全民健康保險簡介」.
- 朱柔若, 2005, 「台湾的勞工問題與政策評析」瞿海源·張苙雲編『台湾的社会問題 2005』巨流圖書公司.

論文の内容の要旨

東アジア諸国の福祉には、何か先進福祉国家のそれとは異なる特徴があるのだろうか。あるとしたら、いかなる歴史的ないし構造的要因がその特徴を生み出したのだろうか。しかし、一口に東アジアと言っても、そこに含まれる多様性をどう理解したらよいか。東アジアの福祉を拡充するという実践的課題に比較研究を活かすことは可能だろうか。本論文は、この4つの問いに対して出来る限りの答えを与えようとするものである。

近年における福祉国家の比較社会学的研究の隆盛はエスピン - アンデルセンの貢献によるところが大きい。東アジア諸国を対象とした既存研究はエスピン - アンデルセンの理論的水準に達していない。例えば、代表的と目されているホリデイの研究は、東アジアの福祉はエスピン - アンデルセンの「3つの世界」に属さない第四の「生産主義的世界」だと主張したが、「生産主義」的特徴を叙述するのみで、「3つの世界」との違いが生じた歴史的・構造的要因を実証的に解明しているわけではない。

それに対して、本論文は、台湾の事例を深掘りすることで、①民主化以前の国家コーポラティズムの遺産が民主化後の社会保障の拡充を阻害する可能性、②1990年代以後の行き過ぎたグローバル化によって政策自由度が制限される可能性、③欧米先進国における新しい政策理念や言説スタイルの伝播によって社会保障の拡充が抑制される可能性といった、注目すべき歴史的・構造的要因を特定している。とりわけ、今日の問題の規定要因を民主化以前の歴史にさかのぼって解明しようとした点は本論文の貢献と言える。

本論文はさらに進んで、①エスピン - アンデルセンの福祉資本主義論の有効範囲は普通選挙が早期に実施されていた欧米先進国に限られること、②東アジアの経験もふまれば、福祉国家の理論的核心には、エスピン - アンデルセンの言う「脱商品化」だけでなく「脱階層化」が含まれるべきだと考えられること、を主張している。ここに見られるように、既存研究に対して東アジアの事例をたんに追加するという趣旨ではなく、福祉国家の比較社会学的研究を東アジアから革新しようとする点に本論文の特徴がある。

本論文の第I部では、他の大陸との比較を通じて東アジアの福祉の特徴を明らかにするとともに、国家コーポラティズムの構造に注目して各国の福祉の歴史的展開を概観した。

第1章「大陸間比較から見た東アジアの福祉」は、東アジアの福祉の構造的特徴を他の大陸との比較を通じて照らし出した。その際、福祉国家の比較研究における規範的観点の重要性を指摘し、福祉国家を評価する基準として社会保障制度のカバリッジを最も重視すべきだと主張した。他の大陸との比較から浮かび上がる東アジアの特徴は、近年に至るまでそのカバリッジが低かったことである。現在、一部の国ではカバリッジが急速に拡充されつつあるが、依然として低い水準にとどまっている国も少なくない。また、福祉国家を実質的に拡充するには財源が不可欠であるが、東アジア諸国の徴税能力はアメリカのそれに近く、欧州諸国のそれとはかけ離れて低い。こうした共通の課題が東アジア諸国に突き付けられていることを示した。

第 2 章「歴史的展開から見た東アジアの福祉」は、東アジアの福祉という主題がクローズアップされた理由を説明したうえで、東アジアの福祉国家が先進諸国のそれとは異なる歴史的文脈において形成されてきたことを明らかにした。権威主義体制のもとで福祉国家を形成した多くの東アジア諸国に対して、欧州の歴史をモデル化したエスピン・アンデルセンの類型論をそのまま適用するのは誤解のもとである。むしろ、後発国も視野に入れたシュミッターのコーポラティズム論を参照することで、東アジアの歴史的な文脈を明確に捉えることができると主張した。さらに、民主化と、経済の行き過ぎたグローバル化——その帰結としての経済危機——を経た東アジア諸国が剥き出しの市場社会を脱し、それぞれの福祉国家 - 市民社会モデルをめざして歩みつつあることを描き出した。

第 II 部では、台湾の事例に即して、現在の東アジアにおいて福祉の拡充を制約している諸要因の規定力を解明しようとした。

第 3 章「台湾の政労使関係と社会政策——国家コーポラティズムの遺産」は、1980 年代以降の台湾における政労使関係の変容と、それが社会政策に及ぼした影響について分析した。1980 年代後半の民主化にともなって、台湾の政労使関係モデルは国家コーポラティズム型から多元主義型へと傾斜したが、1990 年代以降のグローバル経済のなかで、社会コーポラティズム型の政策形成をめざす模索が始まっている。これら 3 つの異質なモデルは、歴史の各時期を代表しているというよりも、まさに 2000 年代以降の台湾において闘争しつつ並存しているのである。芽生えたばかりの社会コーポラティズムは労働市場の柔軟化に抵抗しているものの、その社会コーポラティズム自体が台湾の産業構造の不安定な足場のうえに立っているのだと論じた。

第 4 章「台湾の高齢者福祉政治——グローバル経済の風圧」は、台湾における国民皆年金実現の背景と政策過程の特徴を描いた。近年、台湾の公的年金制度のカバリッジは、東アジアでは日本・タイに次いで高くなっている。しかし年金の給付水準は低く、高齢者の生活は現在でも多世代同居や仕送りなどの家族福祉によって支えられている。さらに、国民皆年金の実現に向けた政策過程においても、先進福祉国家の形成過程で見られた論調とは異なるタイプの議論が展開された。すなわち、専門家の調整的言説が社会運動団体にまで浸透した結果、財政制約をふまえた控えめな制度の導入が超党派的に合意されたのである。こうした台湾の特徴は、福祉国家の拡充をグローバル経済の荒波のなかで進めざるを得ない後発国に共通の困難を示している。

第 5 章「台湾の社会保障と企業福祉——福祉レジームの岐路」は、台湾における国家福祉と企業福祉の相互作用を描いた。台湾では、国家福祉の不備を補うべく政府が企業福祉を奨励した。企業も政府推奨の労使協調イデオロギーを受け入れ、企業福祉を重視してきた。しかし、転職の盛んな台湾では、老後の所得保障を企業に依存することは現実的ではない。そこで、企業から独立した確定拠出制の法定退職金制度が導入されるなど、いわば企業福祉の国家福祉化が進められた。一方、国民皆保険・皆年金の実現によって社会保障が実質化し、企業福祉の役割は相対的に低下したが、年金制度の導入が遅れたことで民間

保険の膨張も生じた。こうしたなかで現在、国家福祉・企業福祉・家族福祉の役割分担の再編が進んでおり、台湾の福祉レジームは一つの岐路に立っているのだと論じた。

第Ⅲ部では、台湾を含む複数の事例を比較することで、東アジアの社会と政策の多様性の要因を探究した。

第 6 章「民主化と社会福祉——台湾・シンガポールの比較」は、社会福祉における市民社会と福祉国家の関係に焦点をあてた。近年、福祉国家の多様性に対する認識が深まる一方、市民社会については先進諸国に限っても画一的に議論されることが多い。しかし、社会福祉において市民社会を代表するボランティア福祉は、各国の国家福祉のあり方に規定されて多様である。東アジアのなかでも、台湾の福祉 NPO が立法運動を通じて福祉制度の形成に寄与してきたのに対して、シンガポールの福祉 NPO はそのような運動を展開してこなかった。台湾では国家福祉とボランティア福祉の相互強化が生じているが、シンガポールではボランティア福祉が国家福祉を代替することが期待されている。民主化の有無に由来するこうした違いが人々の日々の暮らしにも投影されつつあることを描き出した。

第 7 章「雇用構造と若者の就業——日本・韓国・台湾の比較」は、広義の福祉レジームと労働市場の関係に注目した。各国の労働市場の違いは資本主義の多様性に関する議論の焦点の一つとなっているが、とりわけ若者・女性・高齢者・障害者の労働市場については福祉レジームと関連づけて比較分析することが有望だと思われる。もちろん、福祉制度と隣接する雇用制度や教育制度との関連も重要である。ここでは手始めに若者の労働市場を分析したが、日韓台の若者の就業のあり方を規定しているのは、学校から仕事への移行を支える制度と企業の雇用慣行である。日韓台の若者の置かれた問題状況は異なっており、それに対する政策処方箋もおのずから異なる。こうした比較研究を狭義の福祉制度も視野に入れて展開することは、今後の東アジア社会政策論の大きな課題である。

第 8 章「産業化の諸段階と失業保険——東アジア 11 か国の比較」は、失業保険の国際比較を通じて地域規模の社会政策を構想する試みである。貿易や投資の自由化は、経済成長の可能性とともに失業などの社会的リスクも高める。経済統合を持続的に発展させるには、統合がもたらす社会的リスクに国境を超えて注意を払う必要がある。ところが、現状では失業保険を未導入の国も少なくない。未導入の国が導入済みの国と比べて貧しいわけでもなく、失業のリスクが低いわけでもない。こうしたことは比較を通じて初めて明らかになる。地域規模の社会政策を構想すると言っても、いきなり共通政策を導入できるわけではない。むしろ各国政府が相互学習を通じて自国の社会政策を自発的に改善することが望ましく、そうした改善を促すことこそが比較研究の実践的意義だと主張した。

終章では、冒頭の 4 つの問いに対して、本論文全体の分析と考察からどのような答えを与えることができるかを改めて整理した。